

てのひら

てのひらサイズの
できることから始めよう

あしのうら

釣りすべからず

私は釣りが大好きだ。夏になるとシロギス釣りのことで頭がいっぱいになる。かつては、江戸湾で侍が海に立ち入り、脚立の上でキス釣りに興ずる姿があり、夏の風物詩だった。映画「十三人の刺客」冒頭で、主役の役所広司がそのシーンを演じている。このときのキスは、アオギスまたはヤギスと呼び、いまは絶滅の危機にひんしていて、その姿を見ることはほとんどない。

日本最古の釣り専門書に、このアオギス釣りに関して書かれた「河羨録」がある。黒石津軽家三代当主の津軽采女正が、1723年（享保8年）に著した学術書ともいえる三巻から成る書物らしい。采女正は吉良上野之介の娘婿で、奥方との早い死別、赤穂浪士討ち入り後の吉良家への世間からの白眼視などあり、ことのほか釣りにのめり込んだという。

庄内藩が武士に磯釣りを奨励した話も多く知られている。藤沢周平（鶴岡出身）の時代小説に出てくる海坂藩は、庄内藩がモデルだと容易に想像がつく。城下から日本海の磯に出るにはかなりの道のりで、足腰の鍛錬をかねての釣行は精神、肉体面から相当きつかっただろう。鶴岡市の致道博物館には、当時の漁具や釣り道具、名竿と呼ばれる「庄内竿」が数多く展示されている。なかでも「榎風呂の竿」は、櫓より高価な榎風呂との交換をも断り、その名がついたのだそう。

庄内藩で残る釣りの記録は、河羨録と同じ享保時代に書かれていて、元禄時代の後になる。綱吉の生類憐れみの令は釣りも禁止したのだろうか。

（青森市 67歳 かわたれ清兵衛）

「てのひら」読んで 単位認定！

県民カレッジ学生の皆さんは、「てのひら」を読んで、所感を書く、単位認定します。（1単位）



Sha-seの散歩道

撮影日 令和4年6月3日

今回はセンター内ロビーのお花を紹介します。職員が自宅の庭に咲いた真っ赤なバラを提供してくれました。こんな素敵なお花もあるんですね。訪れた方々が「わあ〜きれんだじゃ〜」とロ々に…。バラたちとても喜んでるようにみえました。



読者プレゼント ①“まなびー”トートバッグ

放送大学様提供

はがきに

- ①住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号
- ②てのひらの入手場所③てのひらの感想
- ④希望の番号を明記し、あおもり県民カレッジ事務局「読者プレゼント係」までお送りください。

9/9(金)消印有効。

当選者については次号イニシャルで発表します。（個人情報保護法に基づき、発表以外に利用することはありません）

第78号プレゼント当選者発表

ミニチュア縄文土器作りキット

H.Hさん（弘前市）、
S.Yさん（中泊町）、
N.Kさん（五戸町）

おめでとうございます！



こけすカードスタンド こけすクリップ

編集後記

軒を連ねる商家にとって、こみせを行き来する客は、一つ屋根の下の身近な友人、気の置けない仲間だったのだろう。私は「一つ屋根の下で暮らす」という言葉が思い浮かびました。今回、みなさんからお聞かせいただいた話は、先人の知恵に敬意を払い、その思いを継承する心意気が伝わるものでした。それゆえ「中町こみせ通り」は、なんとも「あずましい」ところでした。

編集・発行 あおもり県民カレッジ事務局

〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7

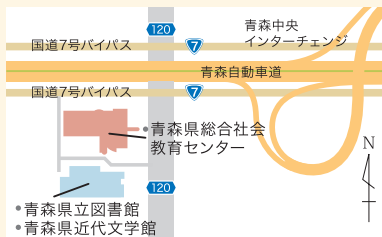
青森県総合社会教育センター

指定管理者 豊かな学びを育む青い森グループ

電話：017-739-0900 FAX：017-739-2570

Mail: alis02@jomon.ne.jp

https://www.manabi-aomori.com



令和4年7月発行 次号は9月に発行します。

あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌

てのひら

てのひらサイズの できることから始めよう

令和4年
第79号
8・9月

学びの種をまく
あおもり県民カレッジ



特集
p 2・3

連携機関紹介

重要文化財

高橋家住宅・松の湯交流館・津軽こみせ駅

黒石市中町『こみせ通り』



- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での講座は座席の間隔を空け、密にならないよう開催します。
- マスク着用の上お越しください。●入室の際は検温・手指の消毒をお願いいたします。
- 当日体調がすぐれない方は入室をお断りすることがございます。ご了承ください。

あおもり県民カレッジって何？

身近な所で開催されている講座をはじめ、施設を見学したり、テレビやラジオの視聴、読書でも単位が取得できます。また申請すると単位数に応じて奨励賞などが授与されます。事務局では、皆さんの「知りたい」「学びたい」を応援します。

●高橋家住宅 ●松の湯交流館 ●津軽こみせ駅



こみせは建物の底を長く延ばした、今でいうアーケード状の建築物。暑い日差しを遮り、雨や吹雪、積雪から人を守り、軒を連ねる商家にとって大切な施設となっていました。現在もまとまった形で残されているのは全国でも珍しく、昭和62年8月に「日本の道百選」、平成17年7月には「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されました。藩政期からのたたずまいを今に伝える建物や景観は、時がゆっくり流れているように感じられます。



● 高橋家住宅

代々「理右衛門」を名乗る藩御用達の豪商として米を扱い、屋号は「米屋」といいます。中町に住み着いたのは江戸中期の享保2年(1717年)からで、建築されたのは宝暦13年(1763年)頃と古文書に記されています。十四代当主の高橋幸江さんは「昭和48年、義父で十二代当主(故・高橋完造さん)の時に『高橋家』は重要文化財に指定され、十三代当主の夫が5年、その後28年間東京生まれの私が家を守り継いでいます」と気丈に話されました。けれども江戸中期の建築以来、一度も手を入れていない建物に住みながら、保守し維持することは人知れぬ苦労があるようにうかがえました。



十四代当主 高橋幸江さん



土間の一角に喫茶スペースを設け、おいしい井戸水で入れるコーヒーが高橋さんの自慢。素材にこだわった白玉寒天、おしるこや抹茶を庭園で味わえます。

豪商ゆえに、殿様や役人が商談や見回りの際に使用したと思われる隠し部屋が二階にあります(非公開)。押し入れのふすまで階段も隠されています。梁は樹齢400年のけやき材、敷居は腐食に強い檜、弓張天井は部屋ごとに板の向きを変え耐震への工夫など、随所に棟梁の技を見ることができます。下駄の歯に踏み固められた土間の凸凹は、江戸時代の足跡といえます。

高橋家住宅(黒石市中町38番地)
開館時間(9:00~17:00、不定休) TEL 0172-52-5374



● 松の湯交流館

こみせの屋根から突き出た松の木がひととき印象に残る施設が「松の湯交流館」です。旅籠(旅館)だった時期もありましたが、中町の「松の湯」は公衆浴場として、明治44年から地域の人々に交流、憩いの場を提供し、平成5年にその長い役割を終えました。その後、交流の場所としての意味と景観を継承するため、平成27年に「松の湯交流館」として新しくオープンしました。女湯の浴室、湯船、番台、下駄箱を復元したスペースは、スタッフのアイデアによる遊び心いっぱいの展示スペースとなりました。「展示アイテムなどを使い“インスタ映え”する人気撮影スポットになっています。施設への滞留時間も増え、地元や観光客が楽しく集える場所として、文字通り交流館の役割を担っています」と今井秋行館長。「10月末まで第一、第三土曜日(午後5時から9時まで)夜市を開いています。屋台、工芸ショップなど多く出展しますので、ぜひお越し下さい」とにぎわい創出に意欲をみせています。

松の湯交流館(黒石市中町33番地)
開館時間(9:30~18:00、年末年始休館)
TEL 0172-55-6782 FAX 0172-55-6783



湯船は意外と深く中に入って写真撮影できる。



遊び心いっぱいの展示スペースは人気撮影スポット

撮影を楽しむアイデアツール



下駄箱を利用したディスプレイ



湯船の中から“ドア枠”ツールを使い写真撮影(今井館長)

● 津軽こみせ駅

こみせ通りでお土産を買うならここ「こみせ駅」。店内にあるステージでは津軽三味線奏者による津軽三味線の無料生演奏が行われています。(土・日・祝および祭り期間中、午前11時と午後2時からの二回演奏)。三味線を直接手に取って弾ける三味線体験が出来ます。「こみせ駅は黒石名物『つゆ焼きそば』を比較的早い時期から提供してきました。しばらく休んでいましたが今年から再開し、地域で力こぶを入れて生産している『牡丹そば』を新メニューに加えました。ぜひご賞味ください」さらに「季節のフルーツを使ったフルーツサンドの提供や10月末まで店頭で朝市(毎週日曜午前6時から7時まで)を開催しています」と船水駅長はPRに余念がありません。また、二階には明治生まれの文学者で、黒石市名誉市民第一号の秋田雨雀を紹介する「秋田雨雀記念館」があります。(入場無料)こみせ駅の裏には、名水が湧き出る井戸「小見泉」、蔵を利用したホール「音蔵こみせん」があり、ライブコンサート、集会、会議など多目的に利用されています。

津軽こみせ駅(黒石市中町5)
営業時間(8:30~17:15、祝日除く毎週火曜日定休)
TEL 0172-52-7271 FAX 0172-59-2081



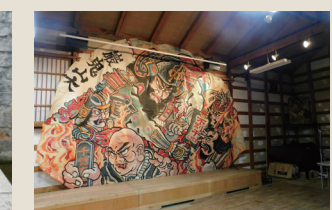
三代目こみせ駅長の船水正嗣さん



ステージ



小見泉



音蔵こみせん

8月・9月 生涯学習講座情報

単位認定 講座、講演会、教室等…1時間につき1単位
見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位

東青地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	アコール階段ギャラリー 8月：スマイルライフサークル展「夏はエコクラフトでレーシー編み」 エコクラフトバッグや小物などの作品を展示 料金：無料	8/2(火)～28(日) 9:00～21:00 8/14(日)は休館日	青森市働く女性の家 「アコール」 TEL/FAX 017-723-1700	青森市働く女性の家 「アコール」 TEL/FAX 017-723-1700
	9月：油彩「二瓶倫尚 個展」油彩作品を展示 料金：無料	9/1(木)～30(金) 9:00～21:00 9/11(日)は休館日		
	アコールサークル体験 洋裁サークル体験：「レッツトライ！Tシャツを作ってみよう」 Tシャツを作りながら洋裁を学ぶ 料金：生地代1,000円のみ	8/23(火)・30日(火) 13:00～16:00		
	アコールフェスタ2022 アコールで活動するサークルの作品を展示・販売 他、朝どれ野菜販売等	9/17(土) 10:00～15:00 9/18(日) 9:30～15:00		
	令和4年度青森県立保健大学公開講座 「医療におけるよりよいコミュニケーションとは」 ・プロジェクト研究についての概要説明 ・患者と医療者のよりよい関係とは ・もっと話していいよ！青森県の患者さん 定員：200名	9/18(日) 13:00～15:30	青森県立保健大学 講堂	
	保健大学ヘルスリテラシー動画講座 保健・医療・福祉の現場でのコミュニケーションについて、保健大学の学生や教職員が自ら出演し、楽しく学べる動画を本学ホームページで公開しています。	9/18(日)～ 11/30(水)	期間限定動画公開 ホームページから ご覧ください。	
	令和4年度健康教室 参加無料 要申込 動脈硬化と生活習慣病 講師：田中 光(青森市民病院 糖尿病・内分泌内科部長)	8/3(水)13:00	浪岡総合保健福祉 センター	
	「大腸がんと闘う」ということとは ～検査、最新治療と、意外と知らない術後の体の変化～ 講師：西川 晋右(医療法人同仁会 浪打病院 病院長)	9/10(土)13:00	元気プラザ	
	令和4年度青森県立郷土館 土曜セミナー 定員：30名(先着順) 受付開始13:00～ 受講料無料 津軽海峡を行き交う先史時代の人たち 講師：杉野森 淳子(学芸課員)	8/6(土) 13:30～15:00	青森県総合社会教育 センター2階 第5研修室	青森県立郷土館 TEL 017-777-1585
	青森県に落下した隕石 講師：島口 天(学芸課員)	8/20(土) 13:30～15:00		
	生類憐みの令と弘前藩 講師：篠村 正雄(ゲストキュレーター)	9/10(土) 13:30～15:00		
	2022年度 ファミリー講座 きらきら塾 対象：子育て中の保護者(4歳～中学生)、家族、地域の皆さん、子育てに興味のある方 早い時期から始める、性教育 ～プライベートゾーンの伝え方～ 講師：福井 りみ子(助産師)	8/25(木) 10:00～12:00	浪岡総合保健福祉 センター	青森市子育てサポート センター(サボセン) TEL/FAX 017-774-6537
	聞いてみよう、スマホ時代の子どもたち ～ネット安全利用のために～ 講師：風晴 翔太(あおもりIT活用サポートセンター)	9/8(木) 10:00～12:00	青森市中央市民 センター 中会議室②	
	2022年度 ファミリー講座 うとう塾 対象：発達に心配のある子ども(発達のかたよりや遅れに心配のある4歳～中学生) の保護者及び地域住民 相談支援事業所ってなあに？ ～困ったらまず相談～ 講師：三津谷 賢吾(株式会社スリーキャニオン代表取締役 スリーキャニオン東青森 主任相談支援専門員)	9/2(金) 10:00～12:00	青森市中央市民 センター 中会議室①	
	悩んでいるのはひとりじゃないよ！～わたしの子育て体験談～ 講師：小林 志保(青森LD親の会こんべいとう代表) 令和3年度ベアレント・トレーニング 参加者1名	9/16(金) 10:00～12:00	青森市中央市民 センター 大会議室	

西北地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	9歳チャレンジキャンプ 仲間との炊事やテント泊、里山トレイルなどの体験活動とおして、 基本的な生活習慣を身につけ、協力する心を育てるキャンプです。 対象：小学3・4年生 定員：24名 募集期間：8/22(月)～29(月)	9/17(土)～19(月・祝)	青森県立 梵珠少年自然の家	青森県立 梵珠少年自然の家 TEL 0173-29-3303
	企画展「ヤマシチ宮越家のものがたり」 資料と美術工芸品から見る宮越家の歴史をご覧ください。 入館料：一般200円、高校・学生100円、小・中学生50円	9/24(土)～10/23(日) 9:00～16:45 (最終入館16:15) 会期中無休	青森県中泊町博物館	青森県中泊町博物館 TEL 0173-69-1111
	特別企画「映える浮世絵版画展Ⅱ」-山田春雄氏コレクションから- 五所川原市出身の山田春雄氏のコレクションの中から「ポップで 映える浮世絵、あらゆる日本の物語がここにある！」をテーマに、 選りすぐりの浮世絵版画を展示します。 観覧料：一般・大学生300円、高校生以下無料	～9/25(日) 9:00～17:00 (最終入館16:30)	立佞武多の館2階 美術展示ギャラリー	五所川原市教育委員会 社会教育課 TEL 0173-35-2111

中南地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	企画展「弘前ねぶた300年」-これまでの300年、これからの300年- 今年は、ねぶたが文献に登場して300年。これまでの300年を振り返り、 これからの300年を考えます。 観覧料：一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円	前期：～8/14(日) 後期：8/20(土)～9/25(日) 9:30～16:30 休館日：毎月第3月曜日 (祝・休日の場合は翌日)	弘前市立博物館	弘前市立博物館 TEL 0172-35-0700
	白神山地ビジターセンター 自然観察会 参加無料 「白神大冒険！親子ロゲイニングラリー」 親子でコンパス・地図を持って白神大冒険！ 対象：小学生以上 親子5組限定 申込受付：8/5(金)～15(月)	9/4(日) 9:00～15:00	津軽白神湖遊々の森 (西目屋村)	白神山地ビジター センター TEL 0172-85-2810
	「初秋の崩山登山」 眼下に広がる十二湖と日本海！「大崩」からの眺望と登山を楽しもう！ 対象：中学1年生以上、中級・健脚向け 定員：20名 申込受付：8/19(金)～29(月)	9/18(日) 8:30～16:30	崩山(深浦町岩崎)	

三八地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	令和4年度 八戸市民大学講座 参加無料 申込不要 がんからの生還～アナウンサーババ奮闘記～ 講師：笠井 信輔(フリーアナウンサー)	8/23(火) 18:30～20:00	八戸市公会堂	八戸市教育委員会 社会教育課 TEL 0178-43-9154
	「もしも」に備える！役立つ防災食セミナー 講師：今泉 マユ子(株式会社オフィスRM代表取締役、管理栄養士)	9/27(火) 18:30～20:00		
	企画展「まるごと馬場のぼる展」 描いた つくった 楽しんだ ニヤゴ！ 絵本「11ぴきのねこ」シリーズで知られる漫画家・馬場のぼるを 様々な側面から紹介する展覧会です。 観覧料：一般1,000円、高校・大学生500円、中学生以下無料	～8/29(月) 10:00～19:00 (最終入館18:30)	八戸市美術館 ホワイトキューブ他	八戸市美術館 TEL 0178-45-8338
	特別展「行きかう土器とヒト」-是川縄文館・弘前大学共同研究展示- 八戸地域における縄文時代から平安時代の土器からみた文化の 移り変わりや地域間交流について紹介します。 観覧料：一般300円、高校・大学生150円、小・中学生50円 ※八戸市内の小・中学生は無料	～9/4(日) 9:00～17:00 (最終入館16:30) 休館日：8/22(月)	八戸市埋蔵文化財 センター 是川縄文館	八戸市埋蔵文化財 センター 是川縄文館 TEL 0178-38-9511
	介護予防講座「正しい薬の飲み方」 高齢者の皆さんが、介護が必要な状態にならないようにするための教室です。 講師：薬剤師(八戸薬剤師会) 対象：おおむね65歳以上 定員：18名 要申込 受付：8/22(月)～ 参加無料	9/26(月)13:15～14:15 (受付は15分前～)	八戸市総合保健 センター2階 介護予防センター	介護予防センター TEL 0178-38-0726
	介護予防教室 参加無料 持ち物：筆記用具・めがね(必要な方)・飲み物 「脳いきいき教室」 現在の認知機能を知り、元気なうちから認知症予防を考えてみませんか？ 対象：おおむね65歳以上 定員：6名 要申込 受付中	8/22(月)13:15～15:00 (受付は15分前～)		
	「体いきいき教室」 ロコモ度テストで今の自分の体の状態を知り、運動や食事についての講話を 聴きましょう。 対象：おおむね65歳以上 定員：7名 要申込 受付8/22(月)～	9/12(月)13:15～15:00 (受付は15分前～)		

※連携機関のみなさまへ：講座やイベントの情報がございましたら、事務局までお寄せください。

単位認定 講座、講演会、教室等…1時間につき1単位
見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位

下北地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
一時間で巡る下北ジオパーク(映像編) 本州最北の下北ジオパークには、恐山や仏ヶ浦など全国的に有名な景勝地のほか、薬研溪谷や猿ヶ森砂丘等々、見どころ満載でどんなに時間があっても足りません。お忙しい皆さんにお勧めなのが、こちらのコース「一時間で巡る下北ジオパーク(映像編)」 講師：小池 拓矢(むつ市地域おこし協力隊) 定員：30名 要申込 受付8/15(月)まで 参加無料	8/21(日)11:00～12:00	むつ市立図書館1階 集会室	ボランティアむつの会 TEL 080-5576-1304 (渡部てつ)

上北地区

講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
企画展 大岩雄典「渦中のP」 気鋭の若手作家 大岩雄典によるインスタレーション・アートと一線を画した刺激をもたらします。 観覧料：無料	9/4(日)10:00～17:00 休館日：月曜日 (祝日の場合はその翌日) ※8/1、8、15は開館	space (十和田市現代美術館 サテライト会場)	十和田市現代美術館 TEL 0176-20-1127
寺山修司記念館25周年記念 特別企画展 2022 vol.1 「寺山修司のラジオドラマ」 “寺山修司”のすべては、ラジオドラマのなかにあった！ 彼が描きたかった世界が凝縮され、原石のまま輝いているのがラジオドラマ。 脚本家自身が保管していた貴重な音源を中心に紹介します。 入館料：一般550円、高校・大学生110円、小・中学生60円 ※土曜日は中学生以下無料	第1期：～11/27(日) 第2期：11/29(火)～ 2023/4/9(日) 休館日：月曜日 (祝日の場合は翌日) ※8/1、8、15は開館、 12/29(木)～1/3(火) 年末年始休館	寺山修司記念館 エキジビットホール	三沢市寺山修司記念館 TEL 0176-59-3434

地域キャンパス講座 県内6地区で開催

※受講無料・要申込

地域色豊かな講座や専門的な講座を開催し学習の機会を提供します。
あおもり県民カレッジ校友会や市町村等と協力・連携しながら県内6地区で開催。

地域	講座名/講師	内容 他	日時	定員	開催場所
青森市	水中ドローンで知る「私たちの海」in青森 ～水中ドローンで海の中を探索しよう～ 講師：大坂組 水中ドローンスクール 青森校	1. 水中ドローンを操縦して、海の中をのぞいてみる。 2. 「海のいま」を知って、そこにある課題を見つめよう。 3. 課題を解決するための方法を、みんなで考えよう。	8/20(土) 9:00～15:00	15名 青森市内在住 小学5・6年生 (先着順)	あおもり駅前ビーチ (A-FACTORY前) 受付会場：青函メモリアルシップ八甲田丸 ※現地集合・現地解散
むつ市	夏休み おはなし会 講師：渋谷 伯龍、おはなしの木、大畑 どんぐりの会、交通安全母の会、親子で音楽・楽しむ会	むかし語り、大型かみしばいや絵本の読み聞かせなどを行います。	8/7(日)	親子、一般合わせて 30名 (先着順)	むつ下北観光物産館 まさかりプラザ 3階 会議室
八戸市	歴史講座「文芸に親しみ学ぶ人々」～八戸俳諧のあゆみ～ 講師：藤田 俊雄 (青森県文化財保護審議会委員、遠野市史編さん委員会副委員長)	江戸時代から俳諧が盛んだった八戸。八戸藩2代藩主南部直政公の「漢詩」、武士や町人にも親しまれた「俳諧」、現在の八戸市立図書館の母体となった「書物仲間」などをとおして、文芸に親しみ学ぶ人々の姿を紹介します。	9/22(木) 13:30～15:30	40名 (先着順)	八戸ポータルミュージアムはっちシアター2

ボランティア自主講座 県総合社会教育センターにて開催

※受講無料・要申込 講座によって材料費が必要となります。

あおもり県民カレッジでは、県総合社会教育センターを利用して、一般の方でも特技や知識を活かし“ボランティア講師”として講座にチャレンジできる「ボランティア自主講座」を随時開催しています。詳しくはお問い合わせください。

講座名/講師	内容 他	日時	定員
免疫力アップ！ウォーキング講座 講師：渋谷 清光	スピードウォーキング(速歩)＆カジュアルウォーキング(普段歩き)の実践と健康ミニ講座 持ち物：飲み物、汗拭きタオル ※動きやすい服装でお越しください。	8/12(金)・26(金) 9/9(金)・23(金) 10:30～11:30	15人
遠州流茶道講座 講師：柴田 宗桃	遠州派の流派に沿って、基本のお点前で、薄茶、濃茶のお点前を学びます。 材料費：500円 持ち物：ふくさ、扇子、懐紙、ようじ(貸し出し可。申込の際にお知らせください。)	8/18(木) 9/15(木) 13:00～16:00	15人
コンテナガーデン講座 講師：桜庭 るみ子	①こけ玉の寄せ植え ②多肉植物の寄せ植え 材料費：1,200円【植物苗3～5ポット】※鉢(直径30cmくらい)持参の方は1,100円 持ち物：エプロン、ゴム手袋、シャベル、持ち帰り用袋	①8/7(日) ②9/25(日) 10:30～12:00	10人
アンガーマネジメント 怒りとうまくつきあう講座 講師：町屋 宗邦	怒りに対する対処法(アンガーマネジメントのテクニック)を一緒に考えていきます。 持ち物：筆記用具	8/20(土) 13:00～14:30	15人

映画鑑賞会のお知らせ

8/6(土) ピノキオ(子ども向け)
(1941年 アメリカ 88分) 日本語吹き替え版
あやつり人形のピノキオの成長を描いた世界の名作アニメ



9/17(土) 安宅家の人々
(1952年 日本 116分)
吉屋信子の家族愛と夫婦愛、女同士の友情を描く



青森県総合社会教育センター 2階大研修室
開演13:30～(開場13:00)
定員150名 申込不要 入場無料



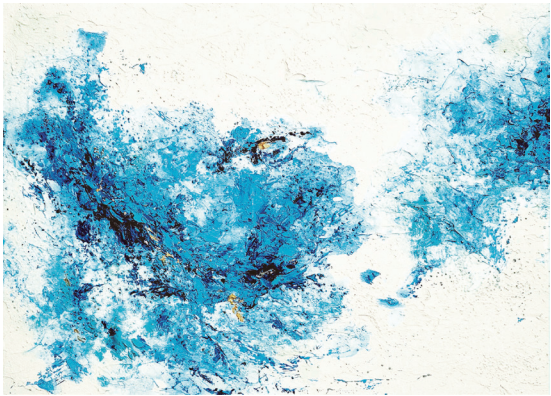
展示「朱夏、彩のきざはし」 算用子綺香

8/2(火)～9/29(木)9:00～18:00

青森県総合社会教育センター
階段ギャラリー

※8/22(月)、9/26(月)は休所日

1994年、青森市生まれ。2013年、青森県立青森戸山高等学校美術科卒業。高校卒業後、市内にて制作活動が続けながら、移ろいゆく一瞬の感情や記憶を平面に定着させる作品を多く手がけている。



information

放送大学 で学んでみませんか？



イメージキャラクター
“まなびー”

あなたらしい学びを見つけてください。

- ☒ 働きながらスキルアップを目指したい**現役世代**の方に！
- ☒ 空いた時間を有効に使いたい**子育て世代**の方に！
- ☒ リタイア後の生涯学習を目指したい**シニア世代**の方に！
- ☒ 自分のペースで大学卒業を目指したい**若者世代**の方に！

BS放送やインターネットで、ライフスタイルに合わせて学べます。

10月入学生募集中 出願期間は 9月13日(火)まで

CHECK! あおもり県民カレッジの単位も、放送大学の「インターネット配信公開講座やYou Tubeチャンネル」(無料)の視聴で1単位、入学して各教科を履修すると1科目30単位が認定されます。

(お問い合わせ) 青森学習センター TEL 0172-38-0500
八戸サテライトスペース TEL 0178-70-1663



放送大学ホームページ
http://www.ouj.ac.jp/



豊かな学びを育む青い森グループ
自主事業

パソコン講座

青森中央経理専門学校の学生が講師となり実施するWord・Excelの応用講座に参加してみませんか？

- Wordの応用 イラスト作成
- Excelの応用 カレンダー作成

8/26(金)10:00～12:00

20名(要申込・先着順)

青森県総合社会教育センター
4階 第10研修室



ある日のお弁当

いよいよ夏本番になりました。昼食も時には麺類にしてみませんか？市販の冷やし中華セットも便利ですが、私は、中華麺、冷やし中華のたれをそれぞれ購入します。中華麺をゆで、薄焼き卵、ハム、きゅうりを太目の千切りに、カニカマは適宜裂いておきます。麺の水分をきって器に入れごま油をまぶしておきます。(麺がくっつかないよ)あとは具材をのせ、白ゴマをふりかけ出来上がり。市販の「冷やし中華のたれ」をお気に入りの空き瓶に詰めて酢をプラス。冷蔵庫にあった果物をたっぷり添えました。たれと果物は冷やすことができたとしても美味しくいただけます。(くろちゃん)



青森県総合社会教育センター 「画伯のたまご」
2階ギャラリースペース

◆青森第二養護学校 生徒作品展示

8/2(火)～30(火)9:00～18:00 ※8/22(月)は休所日

◆八戸高等支援学校 生徒作品展示

9/1(木)～29(木)9:00～18:00 ※9/26(月)は休所日

あおもり県民カレッジ 学生特典紹介♪

令和4年4月以降に新たに追加になった特典です。



■ **新渡戸記念館**
オリジナル『新渡戸稲造ポストカード』1枚進呈

■ **旧弘前偕行社**
有料入館者の方に記念品進呈(会員含む2名まで)